

News & Information

2010/ 1/ 1

〔年始のご挨拶〕

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、多大なるご指導、ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。本年も皆様のご期待に添うべく事業活動に邁進して参りますので、何卒宜しくお願いいたします。

年頭に臨み、当社会長ならびに社長よりご挨拶を申し上げます。



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。新年にあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

お陰様で、当社の中核である創薬事業は順調に推移しております。特に、既に臨床試験（静脈内投与）で効果が確認されている PC-SOD の間質性肺炎治療薬としての開発に関しては、より QOL（患者様の生活の質）の高い投与方法である吸入療法が評価され、公的機関からの研究費を得て臨床試験を開始することになりました。

また AS-013 に関しましては、北京泰徳製薬へのライセンスアウトが決定し、中国で本格的な臨床試験に入ることになりました。一方、基礎研究段階にありますナノ PGE 1 や NSAID に関しましては、複数の製薬企業と共同研究への交渉を続けております。

このように社員全員が一致団結して医薬品開発に取り組んでおりますので、是非今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

取締役会長 水島 徹



新年明けましておめでとうございます。旧年中に皆様から賜りましたご支援、ご厚情に対し、深く感謝申し上げますとともに、新しい年の門出にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は創薬事業、EIP 事業で今後に向けた大きな一歩を踏み出すことができました。創薬事業においては課題であった AS-013 のライセンスアウトが実現し、PC-SOD についてもネブライザーによる投与方法が NEDO の助成事業に採択されたことによって臨床試験に向けた準備が大幅に進展しました。今年も更なるライセンスアウトに向け努力するとともに、新たな共同研究等により研究開発の一層の進展を目指してまいります。

一方、EIP 事業についても、7月に開催されたインターフェックスジャパンへの出展を機に、多くの引き合いやご注文をいただけるようになりました。またシンポジウム等での講演の機会も頂戴することができ、事業自体順調に進展しております。来年も引き続き医薬分野での事業拡大を図るとともに、新たな分野への展開についても注力してまいります。

今後とも、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、しっかりと足元を固め本業に専念し全社一丸となって取り組んでまいります。

本年も LTT バイオフィーマグループを何卒宜しく申し上げます。

代表取締役社長 鈴木 巖